

令和5年度（第4回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和5年11月8日（水） 15時00分～16時55分
- 2 開催場所 加古川市役所南館 301会議室
- 3 出席委員 大山委員、日置委員、坂田委員、岡本委員、後藤委員、黒田委員、川上委員、久保田委員、兼子委員、徳田委員、小倉委員、山尾委員、高橋委員（13名）
- 4 欠席委員 菅原委員
- 5 出席職員 小南教育長、桐山教育指導部長、杉本教育指導部次長、福島教育指導部参事、今津教育指導部参事、松尾教育指導部参事、井上教育指導部参事、衣笠教育指導部参事、梅野社会教育課長、河村文化財調査研究センター所長、宮本文化財調査研究センター副所長

社会教育課（畑副課長、川向地域家庭教育係長、浮田主査）

- 6 傍聴者 0名
- 7 議事要旨
- 開会 15時00分

○ 委嘱状交付

小南教育長より、出席委員に委嘱状及び任命通知書を交付
小南教育長あいさつ

○ 社会教育委員紹介

○ 委員長、副委員長選出

委員

委員長として後藤委員を推薦したい。

※ 全会一致で後藤委員に決定

委員

副委員長として徳田委員を推薦したい。

※ 全会一致で徳田委員に決定

- 社会教育委員の役割及び令和5年度活動計画について
（社会教育課より説明）

(協議事項)

文化財の保存と活用及び市登録文化財制度について

(文化財調査研究センターより説明)

委員

10月の時点で二塚古墳の中まで雑草・雑木が繁茂していた。数人で草刈りを行い、中に入れるようになったが、このような状態であることを文化財は把握していたのか。

文化財調査研究センター所長

古墳が雑草・雑木に覆われていたという情報は把握出来ていなかった。地域と協力できる部分は協力したいと考えている。登録文化財の候補にも選出されているので、具体的なご意見などがあれば対応させていただく。

委員

二塚古墳は、数年前は木々に埋もれたような状態であったため、周辺の木々の伐採を行った。すると今度は、逆に日当たりが良くなったので草が生え、古墳の中に入れなくなった。文化財は維持管理していただくだけでも問題が発生してくる。町内に古墳があり、町内の財産ということで管理をしているが、これもだんだん手に負えない状況になっている。文化財は大事だが、それを皆に認知してもらい、維持管理していくのは無償では今後難しいと思っているのでいい方法を考えてほしい。

委員

地元にある八尊石仏(八ツ仏)が最近テレビで取り上げられた。取り上げられた当初は多くの方が八ツ仏を訪れたようだが、一週間もすれば元の状態に戻ってしまった。

地域の文化財が登録されることはありがたいことだが、それだけでは地域の方もピンとこないし、話題も一過性のものになってしまう。登録される文化財について、歴史的価値、文化財が残っている経緯や関係する人物など、地域の方が文化財に興味を持ってもらえるような情報を付帯してほしい。

委員

日岡山公園の古墳群については、以前の会議で古墳の状況について報告させていただいたが、文化財保護の制度が今回充実するというので、今後の整備状況に大変興味を持っている。

日岡山公園は公園として整備されているところもあるし、文化財が大事にされてると感じる部分も見られる。日岡山公園の古墳群についても、地元の皆さんに親しんでもらえるような整備をしてもらえたらと思う。

委員

登録制度により、地域の文化財に光を当て、地域の皆さんに文化財を知っていただくのは非常にいいことだと思う。また登録の候補に挙げられているのは有形文化財で、市の指定文化財にも無形文化財はほとんどないが、お祭りや祭礼など、該当するものがあるのではないかと思う。

公民館ではトライやるウィークで中学生の受け入れを行っていたが、その中のプログラムの1つに、公民館で活動しているボランティアに協力いただき、地域の様々な文化財や歴史遺産を歩いて回るものがあった。参加した子どもたちも地域の文化財や歴史に触れる中で、今まで知らなかったことも多く、大変興味を持ってくれた。

文化財はそれぞれの地域に数多くあり、登録文化財に登録されることで我々が地域について知り、また愛情を持つきっかけになると思う。皆さんにより知ってもらえるようなPR方法を考えてもらえたらと思う。

委員

登録文化財制度を導入するにあたっては、文化財行政に携わる方からの選出だけでなく、地域からの推薦のような制度もあってほしい。文化財や制度を皆さんに広く周知し、認識をしてもらうという点では、登録文化財制度を推薦や他薦といった方法で、身近な文化財や伝統文化を発掘するような機会としたほうがいいと思う。

正直、文化財と聞くとマニアの方の分野と多くの方がイメージすると思うので、制度ができることによって、自分たちの身近でもそういうものがあり得るところを、ぜひ強調して制度の導入にあたっていただけたらと思う。

文化財調査研究センター所長

制度の創立にあたっては他薦の部分についても、PR方法についても考えていきたい。

委員

文化財保存活用地域計画について、鶴林寺は国宝を有する有名な寺院だが、市内だけにとどまらず、観光客を呼び込む工夫について市をあげて検討いただきたい。

また、日岡山には大きな古墳が3つある。そのうち北大塚古墳は昭和43年に市指定文化財となっているが、南大塚・西大塚の両古墳についても同様に指定できるのではないかと考える。

また、日岡山公園は再整備が行われているが、古墳をうまく活用し、人が来る材料としてほしい。市としてどう活用していくのか、もう少し具体的に説明してほしい。

文化財調査研究センター副所長

日岡山古墳群については、貴重なものであるということが市役所内部でも理解いただ

いている。公園の整備担当部署とも頻繁に協議しており、指定の方向性も含めて、前向きに協議を行っている。

今までは、公園と文化財の担当部署間の連携が密ではなかったが、公園整備を契機にかなり密になっていて、観光も含めて、そういう部分を意識しながら整備を進めているところである。更に具体的に意見があれば反映していきたい。

委員

地域としても文化財を再認識して活用できるようなことがあればという思いがある。西条古墳群については、国指定史跡であり知名度はあるが、残念ながら地域の中ではあまり認識されていないように感じている。地域で古墳の認知度を上げるような取り組みをしたいと思っているので、また助言いただきたい。

また、来年度に西条古墳群の記念事業が出来れば、古墳群の活用が出来ると思うが、来年度確実に事業が行なわれるのか。

文化財調査研究センター所長

西条古墳群の記念事業については、予算が確保出来れば実施予定である。

委員

この会議でも要望があったことを伝えていただき、実現できるようにお願いしたい。古墳群がより活用できるような方向に持っていければいいと思う。

委員

小学生の子どもたちは町探検で地域を回っている。その中で、地域にある文化財についても学校のホームページで取り上げたりしているので、今後も子どもたちが興味を持って学習できるようにしていきたい。

委員

子どもたちは魅力があれば興味を持つので、魅力あるストーリーや面白いと感じるきっかけ、仕掛けづくりをしてもらえたら面白いと思う。

文化財調査研究センター所長

市内の文化財の説明版にも現在順次 QR コードを整備しており、スマートフォンをかざして説明が見れるような取り組みを進めている。

委員

他市で区づくり委員に就任していたが、その際、有形・無形文化財を保存していくた

めに、地域の人たちが色々と計画を立てていた。そのメンバーは、学校関係者だけではなく、高校生や中学生、小学生を含め地域の人たちを数多く巻き込んでいた。また、地域で盛り上げていくために、スタンプラリーを実施したり、ウォークラリーの中に要素を取り入れたり、地域のお祭りの中で何かイベントをやってみる、ということを実施していた。

そのため、単発で事業をやるというよりも、いかに地域を巻き込んでいくのかということを考えていかないといけないと思う。文化財を広めるというのは、私たちが頑張ることも大事だけれども、いかに地域に浸透させるかという部分と、浸透させるために何をするかというプロセスの方がすごく大事だと思った。

委員

もっと地域の文化財について各家庭に宣伝してはどうかと感じた。親が興味を持てば子どもも興味を持つし、その逆もあると思うので、色んなことを情報発信してもらえればいいと思う。また単発で事業を行うのではなく祭りなど他の行事とあわせて実施した方が、今の保護者は参加するのではないかと思う。

委員

市の登録文化財制度の推薦方法については地域の方が文化財の世話をを行うのであれば、登録の際の自薦他薦はどちらでもいいと思う。

委員

地域の歴史や文化財については、学校や子供会、地域のなかで、興味を自分が持って家族も巻き込んでいくというのが理想なのかと思った。今は地域でも動ける方が徐々に少なくなってきたが、なんとか盛り上げていけたらと思う。

委員

文化財調査研究センターだけに任せるのではなく、地域を巻き込むということが大切だと感じた。地域でお祭りやイベントを実施しているが、ただ単に集まるだけでなく、地域の文化財や歴史を紹介して、参加者に知ってもらう場があってもいいように感じた。

また、公民館をはじめとした様々な社会教育施設があるので、そういった施設でも文化財を絡めた取り組みが出来ればありがたいと感じた。

(報告事項)

- (1) 近畿地区社会教育研究大会[滋賀大会] (9/8) の参加報告について
- (2) 東播磨・北播磨地区社会教育・公民館研究大会 (10/19) の参加報告について

- 閉会 16時55分
徳田副委員長あいさつ

以上